

大型積みブロック Sブロック

レベル積



- 従来の積み(間知)ブロックと比較し、1㎡当たり2個使いのため施工性に優れ、省力化が図れます。また、プレキャスト基礎ブロックと併用すればさらに省力化できます。
- コンクリート構造厚35cm+ポラスコンクリート石模様厚2cmの積みブロックで、従来の積み(間知)ブロックと同等以上の壁体質量と強度を有しています。
- 本体と同じ模様の「調整パネル」があるので、天端や延長調整の現場打ちによる調整部分の景観性に優れています。
- 「美しい山河を守る災害復旧基本方針」護岸ブロック留意事項 1の表面の景観パターンを改良し、ブロック目地と石模様の目地が区別しにくい配列および目地幅とすることで、景観と調和するパターンとしました。また、低明度・低彩度・自然素材に近い細礫・ポラスコンクリートのテクスチャーなので竣工時より周辺景観に馴染むと共に、5分勾配でもカエル・カメ・カニの移動経路になります。

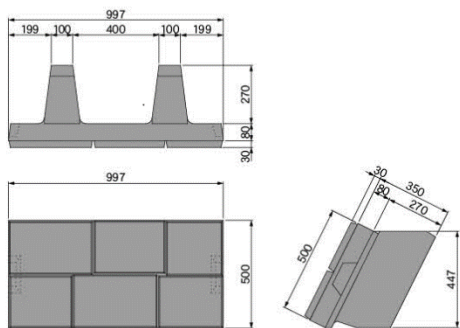
「美しい山河を守る災害復旧基本方針」具体的留意事項

項目	判定	備考
明度	○	明度4.0程度(明度6.0以下)
彩度	○	無彩色
テクスチャー	○	ポラスコンクリート
素材の大きさ	○	20~40cm

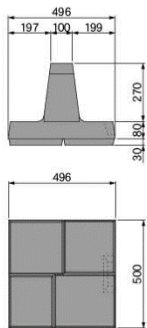


単体図

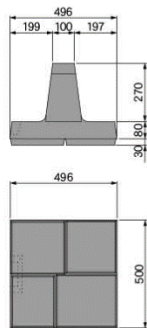
標準型



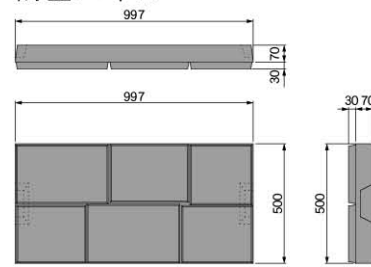
1/2左



1/2右



調整パネル

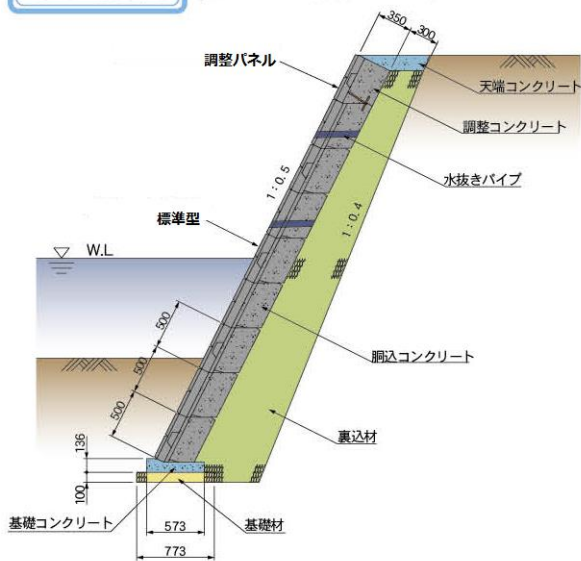


※正面から見て、基本の左側につながるものを「左」、右側につながるものを「右」と呼びます。

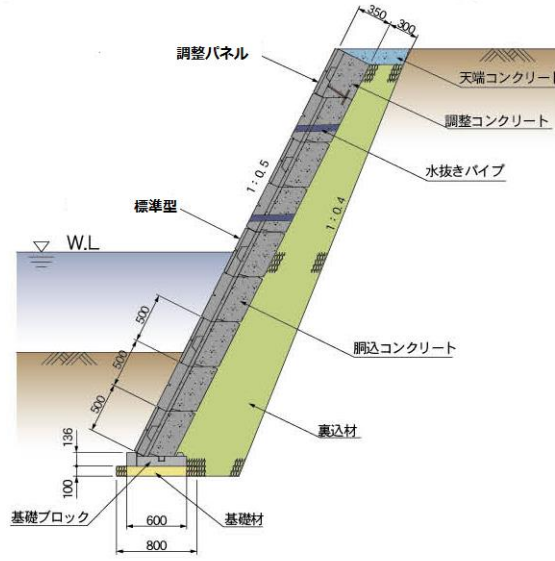
呼び名	参考質量 (kg)	価格 (円)	寸法 (mm)	胴込コンクリート量 (m ³ / 個)	使用個数 (個 / m ³)	備考
標準型	176		500×1000×350(+30)	0.101	2	
1/2型	88		500× 500×350(+30)	0.051	4	
調整パネル	95		500×1000× 70(+30)	0.141	2	

標準断面図

積ブロックの標準的な現場打ち基礎を使用する場合



専用基礎ブロックを使用する場合



 **センシン株式会社**

〒518-0734

三重県名張市黒田下川原1472番地

TEL0595-64-7000 FAX0595-64-7001

E-mail sensing@sensin.co.jp

ホームページ <http://www.sensin.co.jp>

施工写真

